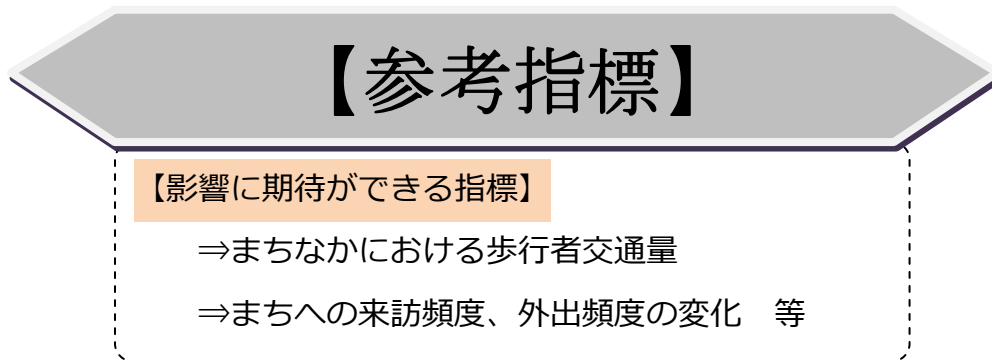
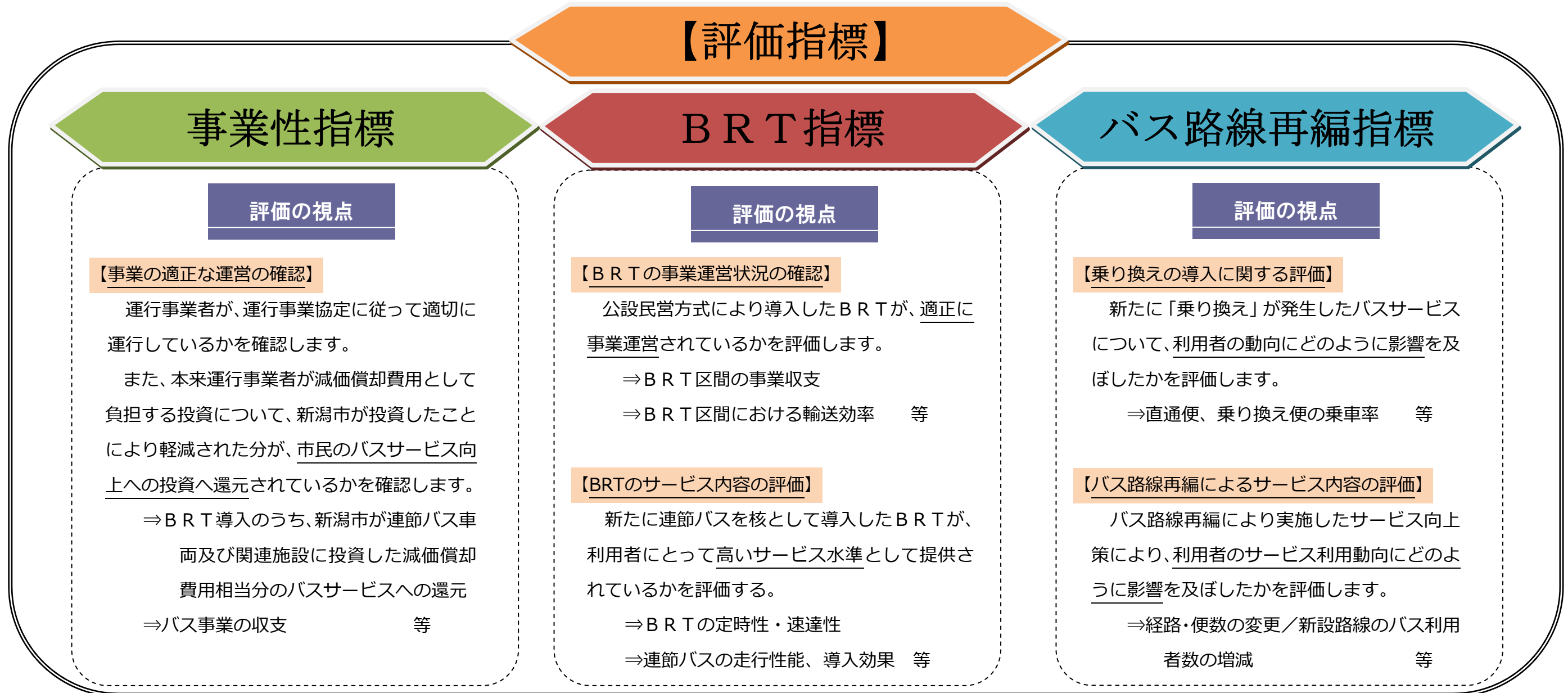


新バスシステムの評価スキーム

- 「まちなか」と「郊外部」でそれぞれ異なる顕在化した課題を抱えていること、また、バスサービスの評価とともに、事業の透明性についても評価視点が必要であることから、次の3つのステージからなる「**評価指標**」を設定し、この指標をもとに新バスシステムを評価します。
- 新バスシステム事業により影響に期待ができる指標を「**参考指標**」として設定し、随時その状況を委員会で確認します。



評価委員会の役割

運行事業協定締結期間の5年間（～平成32年3月31日まで）における、適正な事業運営と、利用者に沿ったバスサービスを評価・検証し、利便性向上へとつなげることで、好循環の創出による「持続可能な公共交通体系構築」を進めるべく意見を提出